



島根大学に留学



FROM



出身国

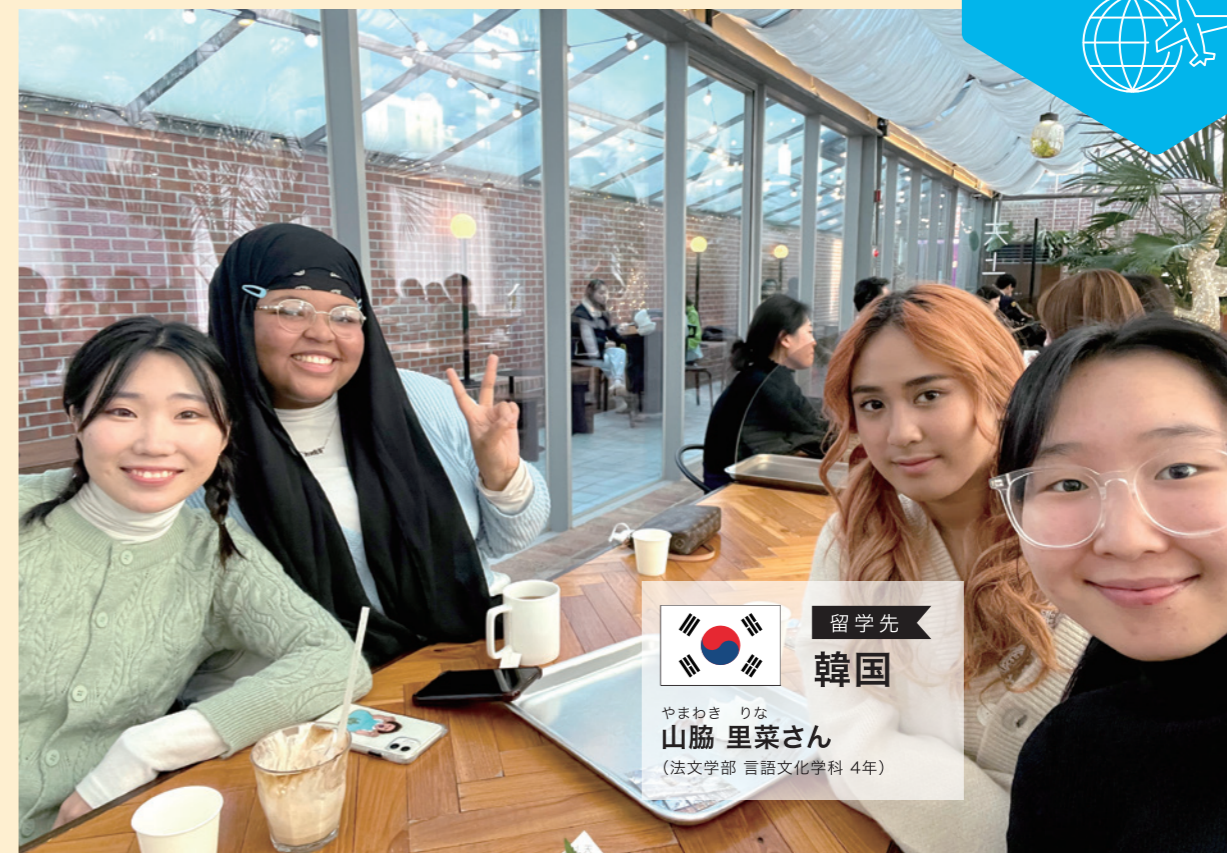
ドイツ (トリア大学)

ケルム・ベネディクト

KELM BENEDIKT さん

(法文学部 交換留学生)

韓国外語大学(韓国)に留学



留学先

韓国

やまわき りな
山脇 里菜さん
(法文学部 言語文化学科 4年)

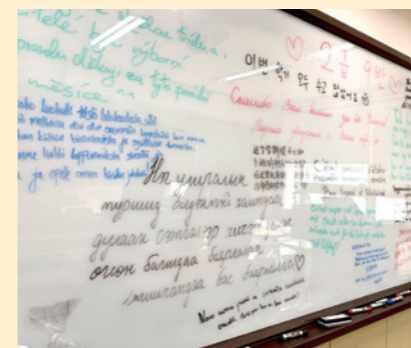
授業後に、各国の友人と集まって会話の練習をした時の一コマ(右が山脇さん)。

失敗を恐れずにやってみることが大事！ 会話練習を重ねて語学力を磨く

大学3年生になって将来を考えた際に、就職する前にもっと広い世界を知りたいという思いが強くなり、留学を決心しました。以前から韓国の文化に親しみがあつたため、留学先は韓国に決めました。

少しだけ韓国語を勉強して自信满满で行きましたが、まったく足りないレベルだったようで、当初は生活の全てが難しく苦労しました。会話がうまく伝わらないことも多かったですが、授業後に友人とその日習った韓国語を使って会話練習を続けたおかげで、今ではほぼ韓国語で会話できるようになりました。春休み期間中には、定期的に英国出身の友人と会って、お互いの言語を、韓国語を使いながら教え合いました。学ぶにつれて、友人の言いたいことが正確に分かるようになり、相手をより深く知ることができて嬉しいです。

留学してみて、以前より失敗を恐れなくなつたと感じます。これまでは韓国語を間違えるのが怖くて黙ってしまうことが多かったですが、多少間違っても相手は理解してくれるので、やってみることが大事だと分かりました。今後は、まだ行つたことのない場所に行つてさらに韓国を深く知りたいです。また、韓国で知り合った各国の友人の故郷にも遊びに行つてみたいです。色々な国で色々な物事を見て知つて教養を深めたいです。



学期最後の日、お互いの故郷の言葉で、クラスの友人に向けた感謝の言葉を寄せ書きしました。

周囲のサポートのおかげで 日本語力に自信がついた



1. オンラインで知り合った友人と食事に行った時の様子。2. 春休みに家族が来日し、2週間国内を旅行しました。写真は福岡の太宰府天満宮にて。

母国の大学では日本学を専攻しています。卒業論文のための資料集めや日本語力の向上、日本文化に触れたいと考え、留学しました。留学当初は日本語があまり上手く話せず、様々な場面で苦労しました。そんな私にとって一番心強かったのは、留学生をサポートするチューターの日本人学生の存在です。チューターがいなかったら、市役所での手続きなど一人ではできなかったと思います。また、先生方も授業で分からないことがあると丁寧に教えてくださつて、とても協力的です。所属する研究室の研修旅行で大阪の国立文楽劇場に行き、人形浄瑠璃を初めて見ました。内容を理解するのは少し難しかったですが、日本文化に触れられたことは印象的でした。

授業で日本語を学び、大学の友人と話しているうちに、日本語で話すことに慣れ、少しずつ自信が持てるようになりました。9月にはドイツに戻りますが、今後は、日本での就職も視野に入れて、日本語力をもっと上げていきたいです。